

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.95 2002.8

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集 リサイクルQ&A



●エコスポットレジオン

P8

●リサイクル出前講師

P3

●リサイクルデザイナー — P6

●エコ・クッキング — P7

リサイクルQ&A



今回リサイクルのことで質問・疑問などを小学生から募集しました。たくさんいただいた中から少しだけですが、Q & Aのかたちでご紹介します。

Q 資源ごみの種類を教えてください。
(今宿南小学校6年生から)

A 今横浜市では、資源物のことを「資源ごみ」ではなく、「資源となるもの」と呼んでいます。つまり「ごみ」ではありません、ということですね。「資源となるもの」は週に1回収されています。「資源となるもの」とは、1.食べ物、飲み物が入っていた缶・びん・ペットボトル 2.なべやフライパンなどの小さな金属類のこと。回収された資源となるものは、横浜市にある4カ所の横浜市資源選別センターで種類別にわけられ、それぞれをリサイクルするための工場へ行きます。

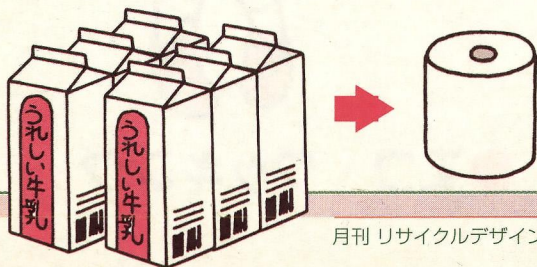
(詳しくはリサイクルデザイン91・92・93号を読んでね。)

(詳しくはリサイクルデザイン91・92・93号を読んでね。)



Q どんな紙でトイレットペーパーを作るんですか？
またトイレットペーパー1巻に古紙をどれくら
い使うんですか？（六ツ川小学校4年生から）

A 学校や会社からでるコピー用紙、牛乳パック、印刷会社から出る裁ち落としの紙などからできます。トイレットペーパー1巻作るのに使う古紙の量は1キログラムでだいたい5巻。1巻ではおよそ200グラム使います。牛乳パック1リットルサイズ6枚で65mのトイレットペーパー1巻ができるんです。日本では一人が1年間に使うトイレットペーパーの量は約7.55キログラム。65mのトイレットペーパーを55ロール使っているんだよ。



Q リサイクルできない紙はどんな紙ですか？
(六ツ川小学校4年生から)

A リサイクルできない紙はこんな種類の紙がある
んです。

●シールやテープ・のりなどが付いている封筒
●ビニールコートといって紙の表面がつるつるした紙
●紙コップなどのワックス加工紙●写真●防水加工紙
といって水をはじく紙●ファックスやレシートなどの
紙（感熱紙）●裏が青くて下に紙をひいて上から書く
と下に字が写る裏カーボン紙と呼ばれる紙

また紙にのりやシールなどがベタベタはってあるとリサイクルできません。大きいクリップなどははずしてくださいね。



Q スーパーで集めているものはどこへいくのですか？発泡トレイ・牛乳パックなど
(能見台南小学校5年6年生から)

A 牛乳パックは再生品を作る製紙工場へ運ばれ、トイレットペーパーやボックスティッシュなどに生まれ変わるんだよ。

発泡トレイはリサイクルデザインが置いてあるスーパーの相鉄ローゼンさんに聞いてみました。「トレイは集めたものをリサイクルする工場の(株)エフピコという工場に運ばれて、分けられ、洗います。白いトレイ・色の付いたトレイに分けられ、白いトレイはトレイからトレイになります。色のついたものは植木鉢やえんぴつたてなどのリサイクルグッズになります。最後に汚くてどうやってもリサイクルに向いてないものはその工場で熱エネルギーとして使っています。」ということでした。

 リサイクルのマークはどんなマークがあるんですか？（六ツ川小学校4年生から）

A まず、マークは品物について説明しているマークがあります。

●プラスチックに付いているマークはプラスチック製容器包装マーク。ただし、飲みもの、しょうゆが入っているペットボトルは違いますよ。

紙製包装容器のマーク…紙で作られた容器などについています。ただし、段ボールやアルミを使っていない飲み物の紙パックには付いていませんよ。ペット製品…ペットボトルのマークでみたことありますよね。他にはビデオテープやカセットテープなどに付いてます。

●次はリサイクル製品に付いているマークです。

PETボトル再利用品マーク…ペットボトルを再利用して使っている商品に付いているマークです。牛乳パック再利用マーク…牛乳パックを再利用して作った再生紙についているマークです。トイレットペーパーなどに付いていますよ。グリーンマーク…古紙再生品に付いているマーク。みんなのノートにもこのマーク付いているかな？古紙配合率を表すマーク…古紙再生利用の文房具や印刷物などに付いているよ。横の数字は古紙がどのくらい入っていますよと書いてあります。

●リサイクルを広めるためにつけたマーク

エコマーク…私たちの生活でモノを買うときにこの商品は環境にやさしい商品ですよ、とお知らせするマーク。今はだいたい5000の商品にエコマークが付いてます。

このほかにも自分たちの身の回りではもっとたくさんのマークがあると思うから、みんなとマークを集めてこれはどんな意味があるマークなのか調べてみるのもいいかもしれないね。



Q 水や電気の節約は、リサイクルに役立つのですか？
(熊見台南小学校5年6年生から)

A みなさんの学校や家庭ではリサイクルしていますか？それではみなさんはどうしてリサイクルするのですか？ごみをへらすためだけでしょうか？みなさんのいる地球には、人間以外にもたくさんの動物や植物が暮らしていますね。その中で、人間は木を切って紙にしたり、石油をとって電気を作ったりしています。木は人間だけが使うものではないですよ。石油もいつかはなくなってしまう。ですからムダ使いをしないで大切にすることが大事なことです。水や電気の節約はムダ使いしないため、リサイクルは木や鉄をムダ使いしないためにするのです。ですからどちらもみなさんのくらしている地球のために役立つのです。

 ペットボトル（プラスチック）のリサイクルはどういう方法がいいんですか？（三ツ沢小学校5年3組から）

A リサイクルされたペットボトルは、ペットボトル以外のものと分けられた後、碎いて洗い、およそ8ミリぐらいのフレークと呼ばれる状態にします。このフレークを使ってシャツや制服などの洋服に利用されたり、シャンプーや洗剤が入っているボトルになったり、文房具などの材料としてリサイクルされる方法と、燃やした時に出る熱から電気などを作り、エネルギーとして利用する方法もあります。他にもプラスチック製品は石油から出来ているので、元の石油などの状態に戻し、原料として有効に利用する方法もあります。それとガスとして利用する方法もあります。また新しい方法として、食品品として使ったボトルをもう一度食品品ボトルとして使用する「ボトルtoボトル」という方法も考えられています。まだどの方法も始まったばかりだから、「これがいいよ!」と言うのはムズカシいなあ…。今回もらった質問で一番多かったのが、ペットボトルのリサイクルについてだったので、これからリサイクルデザインで特集を予定しているよ。

今回たくさんの質問をもらいました。ありがとうございました。また質問があったらみんなでまとめて送ってください。できるだけ答えたいと思います。



■教えて、聞かせて

出前講師におまかせ! リサイクルのA・B・C



横浜市立六ツ川小学校

ふだん、親や身近な大人たちがリサイクルに励む姿を見てはいても、実際のところピンとこない気がしている子どもたちって、案外多いのでは。毎日、現場で「資源となるもの」と格闘している業者さんに会ってナマの声を聞いてみたら、新鮮な発見がありそうですね。

5月29日、南区の六ツ川小学校を、古紙回収業者の宗村隆寛さんが訪ねました。教室で待っていたのは、4年生の児童、94人。おいしい給食にお腹もふくれた5、6時間目とあり、居眠りが出ないかちょっと心配です。

講師も児童も緊張気味で、授業開始

「みなさん、こんにちは。私は、古新聞や古雑誌などを回収している宗村といいます。今日は、よろしくお願いします。」

さて、みんな、自分のうちから出る古新聞や古雑誌なんかが、何に生まれ変わるのか知っていますか。あ、その前に、資源回収の日があるのを知っているかな」

第一声に続く質問に、子どもたちザワザワ。知ってるよー、という声もあれば、資源?それって何?などなど、反応は様々です。これまで何度も講師を務めてきた宗村さん、さすがに落ち着いて授業を進めます。写真やプリントなどを使い、わかりやすい説明を工夫してくれます。

「みんなのおうちでは、読み終わった新聞紙を捨てたりしないよね。資源としてまとめてリサイクルに出しているでしょう。それを、私たち回収業者

が集めて、仕分けをしてブロックにして製紙工場に運びます。そこで古紙は溶かされて、また紙に生まれ変わるんです。紙は何度でも繰り返し使われて、グルグル回っている、それをリサイクルっていうんですよ」

ここで、宗村さんは子どもたちに色々な空き箱を何枚か配り、それぞれにビリッと破らせました。

「ほら、破った切り口を見てごらん。表面はきれいだけど、中とか裏はねず

み色でしょう。これは、再生紙に白いきれいな紙、上質紙を貼って、そこに印刷しているんですよ」

これには子どもたち興味津々。あっちこっちでビリビリと破る音がします。古紙の話に続き、カン・ビン・ペットボトル、古着や古布についての詳しい講義がありました。初めて聞く内容ばかりだったのか、みんなの集中力も途切れることなく、みんな熱心に耳を傾けていました。

質問攻めに、うれしい悲鳴

講義が終わると、今度は質問タイム。元気な腕が一齐にピョンピョン上がりました。

Q.お話にあったもの以外にも、リサイクルされるものはありますか。

「はい。たとえばそこにあるパソコンなんかもね、分解して部品を再利用したり、使われている貴重な金属をまた溶かして使ったりしていますよ」

Q.生ゴミはリサイクルできるんですか。

「はい。家畜のエサに、畑の肥料に、いくつかの企業が取り組んでいます。生ゴミって臭いでしょう。あのにおいのもととはガスなんです。だから、天然ガス化できないかということも研究されています」

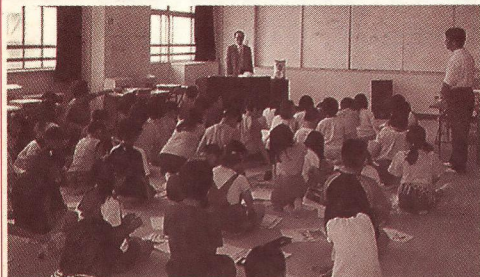
Q.お仕事していて困ってしまうのはどんなときですか。

「分別がちゃんとできていないときかな。古新聞と古雑誌がごちゃごちゃに混ざっていたりすると、分ける手間が余計にかかってしまうからね」

このほか、リサイクルは何年ぐらい前からされているの、何人ぐらい働いているの、といった、小学生ならではの素朴な（ゆえになかなか答えが出しづらい）質問や、宗村さんは何時から働いているの、どうしてこの仕事を選んだの、など、親しみの湧いてきた講師に対する個人的な質問まで出て、活発な授業が展開されました。

リサイクル業者を身近に感じることで、資源となるもの、リサイクルの仕組みへの関心を深めるきっかけ作りができたように思えた授業でした。

6月13日に長津田小学校へも行って来ました。



4年生2クラスが集まって話を聞いたり、質問がたくさんでした。

本誌のページの片隅に、ときどき出前講師の派遣についての案内が出ているのにお気付きでしょうか。リサイクル組合では地域や学校などのご要望に応じ、リサイクル教室を開催しています。

今後も出前講師は随時募集しておりますので、**リサイクル組合**
電話 045-316-4050 へお問い合わせ下さい。

よこはま白書 2002.8

横浜市環境事業局ホームページ
http://www.city.yokohama.jp/me/pcpb

「よこはま白書」は横浜市環境事業局や各区のリサイクルに関する情報をお知らせするページです

このポスターコンクールは、広く市民がごみの減量化と資源化そして美化推進について、関心を持ち、その認識と理解を深めるために行われます。市内の小学校、中学校の生徒を対象に「ごみの減量化・資源化、ポイ捨て防止に関するポスター」を募集し、審査会で入賞作品を決定します。入賞者については10月13日リサイクルフェスタの会場で表彰式を行い、賞状と賞品を贈呈します。

●テーマ…「ごみ減量化・資源化、ポイ捨て防止」に関するもの

- ・ごみを出さない工夫
- ・ごみになるものを家庭に持ち込まない工夫
- ・ものを大切に使い長もちさせる工夫
- ・ごみに出さずに再利用する工夫
- ・ポイ捨て防止 等

●対象…

市内の小・中学校の児童・生徒（応募作品はひとり1点）

●サイズ…B3判（36.4cm×51.5cm）

またはB判四つ切り（38cm×51.5cm）

●応募期間…平成14年7月1日（月）から

9月6日（金）まで ＊期限厳守

●提出方法…持参または郵送

※作品の裏に、学校名、学年、氏名を明記した「作品提出表」を必ず貼付し、学校ごと提出名簿「ポスター応募者名簿」と一緒に提出して下さい

※作品を良い状態で提出していただくため、できるだけ持参くださるようお願いいたします。（郵送事情によっては作品に折り目がつくことがあります。）

※通っている学校で応募していない場合は、個人参加できます。直接持参するか郵送してください。

●提出先…

持参の場合

- ・各区環境事業局事務所（住所連絡先は下記参照）
- ・環境事業局減量推進課（中区住吉町1-13 松村ビル6階 TEL671-3816）

郵送の場合

- ・各区環境事業局事務所（住所連絡先は下記参照）
- ・環境事業局減量推進課（〒231-0017 中区港町1-1）

●その他…

※入賞作品は横浜市に帰属します。

※作品の中には、商品名（商標名）等を入れないようにしてください。入賞発表と表彰：9月24日（火）に審査会で入賞作品を決定します。10月13日（日）に入賞者の表彰式を行い、賞状と賞品を贈呈します。

※昨年度の入賞作品を横浜市のホームページに掲載しています。

（http://www.city.yokohama.jp/me/pcpb/new 最新情報に掲載）

●作品の返却…

入賞作品は平成15年9月頃（環境事業局のイベントなどで展示するほか、各種広報印刷物等で活用させていただきます）入賞作品以外については、平成14年12月頃に参加賞とともに返却します。

環境事業局事務所一覧（受付時間 月～土8:00～12:00・13:00～16:15）

所在区	事務所名	郵便番号	住所	電話番号
鶴見区	鶴見事務所	〒230-0046	鶴見区小野町39	(502) 5383
神奈川区	神奈川事務所	〒221-0036	神奈川区千若町3-1-43	(441) 0871
西区	西事務所	〒220-0055	西区浜松町11-4	(241) 9773
中区	中事務所	〒231-0812	中区錦町11-2	(621) 6952
南区	南事務所	〒232-0041	南区睦町1-1-2	(741) 3077
港南区	港南事務所	〒234-0054	港南区港南台8-4-41	(832) 0135
保土ヶ谷区	保土ヶ谷事務所	〒240-0025	保土ヶ谷区狩場町355	(742) 3715
旭区	旭事務所	〒241-0005	旭区白根2-8-1	(953) 4811
磯子区	磯子事務所	〒235-0017	磯子区新磯子町6	(761) 5331
金沢区	金沢事務所	〒236-0034	金沢区朝比奈151-1	(781) 3375
港北区	港北事務所	〒222-0011	港北区菊名7-8-28	(401) 3133
緑区	緑事務所	〒226-0027	緑区長津田町1281	(983) 7611
青葉区	青葉事務所	〒225-0024	青葉区市ヶ尾町2039-1	(975) 0025
都筑区	都筑事務所	〒224-0064	都筑区平台27-2	(941) 7914
戸塚区	戸塚事務所	〒244-0805	戸塚区川上町415-8	(824) 2580
栄区	栄事務所	〒247-0013	栄区上郷町1570-1	(891) 9200
泉区	泉事務所	〒245-0016	泉区和泉町5874-14	(803) 5191
瀬谷区	瀬谷事務所	〒246-0021	瀬谷区ニッ橋町548-2	(364) 0561



13年度最優秀作品
中学生の部（上）
小学生高学年の部（中）
小学生低学年の部（下）

「ごみ減量化・資源化、ポイ捨て防止」ポスターコンクールに応募しよう

できることから
はじめよう!

エコアクション
100!

リサイクルフェスタ2002 に行ってみよう!

開催日 平成14年10月12日(土)・13日(日)
会場 パシフィコ横浜展示ホール(Aホール)

いまやごみの減量化・資源化を進めることは、市民一人ひとりの毎日の生活の中で、欠かさない身近な課題になっていますが、恒例となった、横浜市とリサイクルフェスタ実行委員会主催の「リサイクルフェスタ2002」が今年も開催されます。

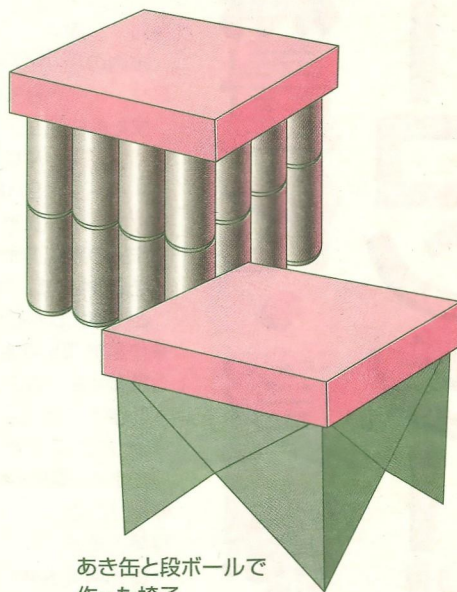
市民にリサイクルを学んでもらい、実際に行動してもらうためのイベントが計画されています。各企業のリサイクル活動の紹介や環境対応商品の展示、市民リサイクル団体やグループの出展など、また、市民が直接リサイクル体験できる「フリーマーケット」もあります。これは一般公募(カコミ参照)されますので、出店希望のかたはぜひ応募してください。

「エコアクション100」のコーナーでは、ごみ分別ゲーム、クイズラリー、パネル展示などが行われ、リサイクル休憩所には、空き缶と段ボールで作った椅子が設置される予定です。また、このコーナーでは、p5に掲載の「ごみ減量化・資源化、ポイ捨て防止ポスターコンクール」の優秀作品の表彰式がおこなわれます。

その他にも、リサイクルファッションショーやプロの演芸人によるステージショー、クイズ大会、リサイクル自転車抽選会など、盛り沢山のステージイベントも予定されています。

リサイクル推進月間の10月に、みなさん誘いあって「リサイクルフェスタ2002」に参加しましょう。

●リサイクル休憩所(イメージ)



空き缶と段ボールで作った椅子

○リサイクル掲示板○

センターリサイクル

●8月4日(日)

・泉区センターリサイクル
環境事業局泉事務所構内
時間:午前9:00~12:00
※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所
TEL 803-5191

●8月3日(土)

・センターリサイクルinせや
瀬谷区 ニツ橋公園
時間:午前9:00~12:00
※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所
TEL 364-0561

●8月11日(日)

・かながわセンターリサイクル
神奈川区 反町公園
(神奈川区役所側)
時間:午前10:00~午後1:00
※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレー、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ
TEL 413-3196

●8月18日(日)

・旭区センターリサイクル
環境事業局旭工場内
時間:午前9:00~12:00
※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙バック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所
TEL 953-4811

リサイクリフェスタ2002 フリーマーケット 出店募集

●日 時…平成14年10月12日(土)・13日(日)
10:30~16:00

●場 所…パシフィコ横浜展示ホール(Aホール)
リサイクルフェスタ2002会場

●小 間 数…各日100小間程度

●出 店 料…2,000円

●受付期間…平成14年8月10日(土)~8月31日(土)
必着

出店申し込み方法など詳しい内容については、広報よこはま8月号、環境事業局ホームページなどを御覧下さい。

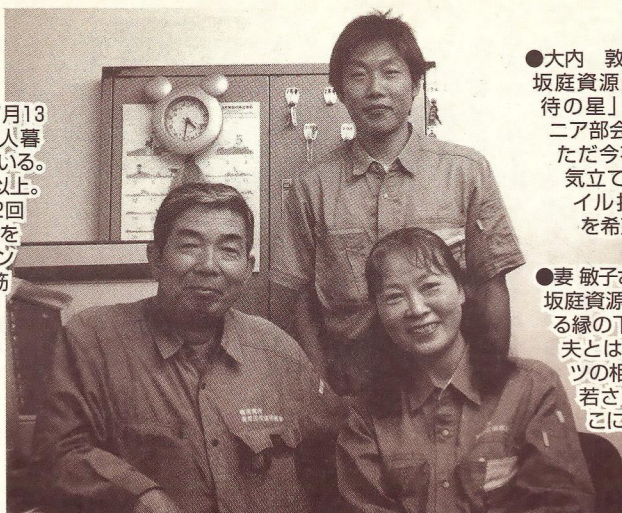
横須賀市の新分別回収 1年で驚きの効果

横須賀市は2001年4月から家庭ごみの新分別回収を実施しました。リサイクルに回せる物と回せない物に分別し、ごみの減量化をめざしたのです。実施するには市民の理解と協力が必要でした。約3カ月半前から組合の理事長や役所の減量課の人たちと市内全域を回り説明会を開きました。そのかいあって、1年経った今、横須賀市のごみ焼却量は前年の4分の3に減少、埋め立て処分量は前年の20%にまで減りました。その分リサイクル量は増え、資源化率は13%から31%にはねあがったのです。「説明会の際は大変でした。いろんな意見が出て」 当時を振り返って話す坂庭さんからは、達成感と仕事への誇りが感じられます。

横浜の多くの人に 考えてもらいたい資源物の リサイクル

坂庭さんが脱サラをして古紙回収を始めたのは23歳の時。その後、葉山、逗子と仕事の場を移し、今は横須賀市の委託を受けて紙や粗大ごみ、家電などの資源回収に携わっています。古紙回収では横須賀で44団体、横浜で8団体の回収を行っています。「横須賀は仕分けがきちんとできています。菓子箱やたばこの箱などは紙袋に入れて出していますよ」新聞、

●坂庭俊雄さん
1943年(昭和18年)7月13日生。妻と次女の3人暮らし。長女は結婚している。ボーリング歴は20年以上。公式記録で300点を2回出している。今は腰を痛め、好きなボーリングもできず仕事一筋の毎日。



●大内 敦さん(25歳)
坂庭資源開発の「期待の星」にしてジュニア部会のホープ。ただ今花嫁募集中。気立てが良くスタイル抜群で美人を希望。

●妻 敏子さん(取締役)
坂庭資源開発を支える縁の下力持ち。夫とは今もアツアツの相思相愛の仲。若さの秘訣はそこにあり。

資源回収 100%をめざして

雑誌、古着などは横須賀市民全員が、町内会あるいは自治会の集団回収に出すようになっているため、ごみと一緒に出されることはほとんどありません。「横浜はごみの中に資源物がいっぱい入っている。もったいないと思うよ」。横須賀と比べると、横浜市民の集団回収への関心は薄いといわざるを得ません。「だから回収板などでもっと広く、みんなに知らせるべきじゃないかな」リサイクルすると焼却してしまうのとどちらが良いか、横浜の多くの人に考えてもらいたいと坂庭さんは言います。

取材の終わりに横須賀市リサイクルプラザ、愛称「アイクル」に案内してもらいました。1階の家具展示スペースには、新品と見まがうピカピカの家具が並んでいます。坂庭さんは粗大ごみを回収する時に、出されている家具がまだ使えるようなら、傷つけないよう、壊さないよう、

細心の注意を払って運んでいきます。運ばれた家具はここで職人さんの手によってピカピカの家具に生まれ変わります。その家具はオークションによって希望者に落札され、再び各家庭でよみがえるのです。

必要なのは住民のパワー

横須賀市がここまでごみ減量に成功したのは何故でしょうか。「市民が一丸となって協力したから。みんながちゃんと分別して出しているか、常に注意を払ってくれた地域の人や町会長さんの努力なしではできませんね」。資源回収では大幅に遅れをとっている横浜市がこれから分別回収をすすめるために必要なことは「行政を動かす住民のパワーじゃないでしょうか」。坂庭さんの言葉に「横浜だってやればできる」そんな思いを強く持ちました。

びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレットペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

トイレットペーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレットペーパー



★使ってびっくり

シングル芯なし130メートル1パック(6ロール)あたり価格420円

びっくり その2

手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレットペーパー(シングルで60m)の2倍以上の長さ(130m)です。「使っても使ってもなくならないんですね」との声も寄せられるほど(もちろんいつかはなくなるけど)。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい! 愛用者の某リサイクルデザイナーの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレットペーパーだと大丈夫なの!」(実話です)。

注文受付けは1ケース
(48コ入=6コ入りパック×8) より
1ケース 3,360円(配送料込み)

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得!

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045-316-4050 FAX 045-316-6050

食を考えることの大切さ

暑い夏がやってきた。楽しい夏休み、たくさんのお宿題を早目に済ませ、いっぱい遊びたい！と思いついて、計画を立てても、なかなかその通りにはいかない。そんな私は、三日坊主タイプの学生でした。学生時代、何か、勉強をしなくてはならないことの意味が、わからなかった。学歴が大切と教えられ、将来でいい学校を卒業したい企業に就職し、男性ならそこで出世をする。女性、高学歴、高収入、将来、高職歴を得られる男性と結婚し、一生安泰の生活を送ることが女の幸せと、いわれている時代でした。でも、今から考えれば、幸せなんて人それぞれ違うはず。こんな常識に縛られながら、いやいや勉強し、中途半端に生きていた自分が、情けない。そもそも、病気をしてから、私の人生はかわりました。健康になりたくて、自ら求めて勉強を始めた20代……。食の世界がこんなにすばらしく、奥深いものだと、誰も教えてくれなかった。食を考えた、実践したりすることは、人として学ぶことがたくさん詰まっている。すばらしい時間です。毎日繰返される食を見つめなおすことは、自然と人のつながりを知る、チャンスです。

是非この夏休み、親子そろってタツキングにチャレンジしてみてください。きっと多くの体感、感動が得られるはずです。メニューはもちろん、エコタツキングを取り入れてください。

☆スパイシーフライ☆

<材料>4~5人分

鶏もも肉 2枚 (一口サイズに切る)

a) レモンすりおろし少々

ニンニクすりおろし少々

片栗粉 大さじ2強

カレー粉 大さじ1

コショウ少々 塩 小さじ1

b) ジャガイモの皮4コ分 (せん切り)

ブロッコリー茎1/2株分 (せん切り)

揚げ油 適宜

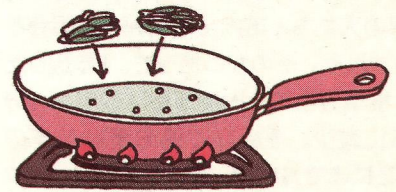
<作り方>

① aを合わせ、もも肉を1時間~

1晩味をなじませる (冷蔵庫で)



② bを①に加えよく混ぜ、お肉にくっつけながら揚げる。



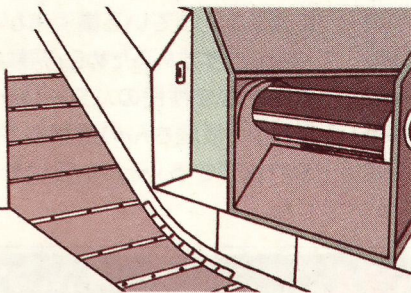
★チキンかわりにイワシを3枚におろしたのもおいしい!

ことば博士 大内 淳

リサイクル組合を背負って立つ、ジュニア部会のメンバーが、リサイクルの現場で使われている用語について解説します。

皆さんは、新聞・雑誌・段ボールなどの資源が回収された後、どこに運ばれるか知っていますか?

各家庭から集められた資源物は直接再生工場に運ぶのではなく、一度古紙問屋に集められます。そこで使用されている機械が**ベラー**です。

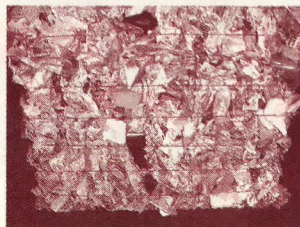


『ベラー』

ベラーとは、簡単に言ってしまうと大型プレス機のようなもので、集めて選別された新聞・雑誌・段ボールなどを品目ごとにベラーに投入すると、ある程度の大きさに圧縮されさらに、ばんせん (太い針金) で縛られて出てくるという機械です。

またベラーに掛けて出てきたものをベールと呼んでいます。このベールの大きさは紙類で2m×1.5m×1mぐらいで、高さとはベラーの紙が出てくる口の大きさで、長さだけがベールを積み込む大型トラックの幅にあわせて調整されています。

▼針金でしばられたベール



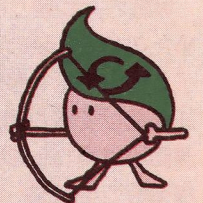
そしてこのベールを製紙会社や再生工場へ持っていき、トイレトーパーや再生紙の原料として使われるのです。これらは国内だけでなく、海外にも輸出されています。

また、ベラーという機械は、一度に大量の紙を投入すると機械が詰まってしまうので、投入する前にベルトコンベアーに乗せて少量ずつ紙を投入するという形が普通です。

このほかには、缶・びん・ペットボトルの選別センターでもベラーが使われています。このように各家庭から出していただいた紙類は回収してから再び製品になるまでに様々な工程があります。このベラーもその中の一つです。

リサイクルデザインサポーター

募集



●横浜市資源リサイクル事業協同組合では、協力会員 (略称リサイクルデザインサポーター) を募集しています。リサイクル・環境教育・街

づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

●申込方法

FAX・メールまたはお電話で下記資料請求先へ 1.ご住所 2.お名前 3.電話番号 4.「リサイクルデザインサポーター申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045-316-4050
FAX 045-316-6050
mail@recycledesign.or.jp



環境絵日記募集中

今年も小学生のみなさんから環境絵日記を募集します。メインテーマは『リサイクルは、世界みんなのキーワード』みなさんからの応募お待ちしております。

テーマ

1.「わが家のリサイクル自慢」…

今、わが家で取り組んでいるリサイクル、わが家で考えたアイデアリサイクルなど。

2.「わたしのまちのリサイクル」…

自分の住んでいるまちで行っているリサイクルに参加したときのこと、気づいたことなど。

3.「みんなでつくる未来の地球」…

自分たちが作る未来の地球（ロボット社会ではない）は、どんな地球であつたらいいかを想像して描く。

用紙

小学校や子ども会などの団体でご応募いただく場合は、必要な応募用紙の枚数をご請求いただければお送りします。直接リサイクル組合の事務局でも配布しています。

詳しくは右記へお問い合わせ下さい。

応募方法

用紙の表と裏の記入事項を書き入れてリサイクル組合までお送り下さい。直接お持ちくださっても結構です。

画材

どんな画材でも構いません。



しめ切り

9月9日（月）当日消印有効

環境絵日記へのお問い合わせ・送付先は…

〒220-0005

横浜市西区南幸2-16-22金属ビル3階

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL045-316-4050

FAX045-316-6050

mail@recycledesign.or.jp

審査結果の発表

10月20日開催の「リサイクルデザインフォーラム」にて発表

*学校やクラス、子ども会単位での応募も大歓迎!! もちろん個人での参加もお待ちしております。

*応募は1人1点。ご応募いただいた作品は返却できませんので、あらかじめご了承ください。また、応募作品の著作権・使用权は横浜市資源リサイクル事業協同組合に帰属します。

環境絵日記 市民審査委員募集

環境絵日記の審査員を今年も募集します。お申し込みはリサイクル組合事務局まで。参加して頂いた方には記念品と交通費（一律になります）をお持ち帰りいただきます。

Eco Spot
エコスポット

環境にも心にも優しいお店

Région
レジオン

都筑区中川中央1-37-23

TEL 045-910-2345 / FAX 045-910-2346

市営地下鉄・センター北駅（都筑区）から歩いて2分、赤い壁に緑のひさが映える「レジオン」。ここはオープンして5年目、オーナーシェフの藤巻さんと12人のスタッフが笑顔で迎えてくれるこだわりのフランス菓子・パン・カフェの店です。年に4回発行しているレジオン通信には藤巻さんが考える、食や環境、生き方など様々な情報が満載されています。

レジオンとはフランス語で「地方」という意味。「食の原点は地方にあり、その味を大事にしていきたい。原点を忘れない」という思いからつけられたそうです。

店内は3分の1がお菓子とパンの販売。残りのスペースがカフェになっていて、天気の良い日にはオープ

ンテラスで軽食を楽しむこともできます。そのたたずまいはさながらパリの街角のよう。

安全でおいしいものを居心地のよい場所で食べてもらいたいと、内装にも気持ちよく過ごせる素材を使っています。

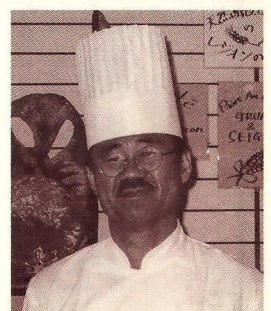
レジオンでは、食の安全を第一に考え食品添加物を一切使わず、天然酵母、国産小麦、天然塩、生体エネルギー水を使ってパンやお菓子を作っています。また、自家農園で収穫した無農薬の野菜やベリー類、ハーブを使用。そのきっかけは「食と犯罪」という講演会で食べ物が身体だけでなく心にも大事なことで知ったから。『食』はいろんなことに繋がっているんです。そんな思いから、純石鹸の使用、牛乳などの容器のリサイクルの徹底、生ごみは100%堆肥にし、自家農園で使用するなどしています。今後は生ごみをオープンで燃やして、量を減らしてから堆肥にすることも考えているそうです。

さらに「再生（リサイクル）から再利用（リユース）へ」ケーキの箱、パンの袋、

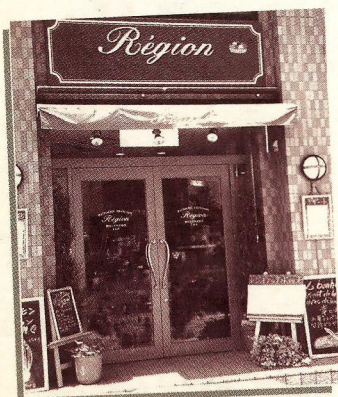


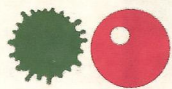
おすすめは玄米と8種の穀物を使ったレジオンパンで作るサンドイッチ。持ち帰りもできます。

陶器の容器、保冷剤にデボジット（預り金払い戻し制度）を採用しています。また箱や袋、保冷剤を自宅から持参すると割り引きがあり、無料で密閉容器の貸し出しも行っています。



藤巻さんは「次の目標は現在のカフェを発展させたバリアフリーのレストランを開くこと。そして栄養価も高く、天然循環資源といわれる大麻の実を使ったお菓子やパンを推奨していきたい」と語ります。カフェの伝票やケーキの注文票にも包装紙の余りやコピーの裏紙を使う徹底ぶり。身体に優しい食べ物を扱う店は環境にも心にも優しいのでした。





RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2002年6月現在
日経6/27

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** -1~0円	2.5~3円
雑誌	** -4円	-1~0.5円
段ボール	** -4円	0.5~1円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	

*集団回収には「買入価格」を適用 **有料

有料の場合あり *スチール缶と選別済の価格

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。

事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

アルミ缶のリサイクル率が昨年は、82・8%になったとの発表がありました。10年前は53・8%だったので、実に29ポイントもアップしたことになります。また段ボールのリサイクル率は、昨年は97・1%で、こちらも10年前に比べ、約25ポイントも上昇しています。今年のリサイクル率は100%を超える?とも言われています。この10年間で増えたものは、リサイクル率だけでなく、みなさんもお存知の通り、食品トレー・ペットボトルと、リサイクルされる種類も飛躍的に増えました。もちろんリサイクルの量や種類が増えることはすばらしいことです。しかし、ここで考えていただきたいのです。

リサイクルは資源が循環して一つの輪が出来てはじめて環境にやさしい取り組みになります。「ごみとして捨てるのではなく資源回収に」という取り組みの次には、何をすべきでしょうか?「リサイクルされるからいいや」という気持ちで、資源の無駄遣いをしてはいませんか?

編集室から

月刊リサイクルデザインは
次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カミ5F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横）●大船店●地酒 篠原屋（港北区篠原）●エコロジーショップエッセンス（中区麦田町）●神奈川県銀行瀬谷支店・本牧支店●安田火災海上保険横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店●食品館・白根店生活館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・ドリームランド店・磯子店・オルト新子安●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●自然彩食（名古屋）●まじょらむ（港北区綱島）●オーガニックスペースかれん（港北区大倉山）●カフェ社（港北区日吉）●きまま舎（緑区霧が丘）●うどんカフェ（青葉区こどもの国）●横浜国際ホテル（西区南幸）●さくら歯科クリニック（オーケー港北ニュータウン店2F）

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

小結くん
で

こむすび

牛乳パックから生まれた紙ひも

古紙をしばればまるごとリサイクル



1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所 ●横浜市金沢区・緑区・南区・中区・都筑区の区役所売店●グリーンバザール(南区)●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横)●大船店(鎌倉市小袋谷)●コミュニティストアすずき(戸塚区)●エコロジーショップエッセンス(中区)●御菓子処おきな堂(神奈川区)●村松商店(鶴見区生麦)

月刊 リサイクルデザイン No.95

発行日: 2002年7月25日

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

発行人: 中野聡恭

〒220-0005

編集人: 宗村隆寛

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継
杉山宜利・芦澤博志

制作: (企)エコ・アド
印刷: オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

